

ワークショップについて

本市では、市民の皆様に、景観まちづくりに対するご理解や意識を高めていただくために、これまでも市内の景観をめぐるバスツアーなどのイベントを行ってまいりましたが、今年度は、身近な景観資源を改めて発見し、また認識していただくため、写真撮影と景観まちづくりを融合させたワークショップを実施してフォトブック「私の撮っておきの川崎」を作成しました。

このフォトブックにより、改めて皆様の身近な景観を知っていただき、川崎の新たな魅力を感じていただけたら、幸いです。

開催日時：平成27年1月17日土曜日午後2時から
開催場所：かわさき市民活動センター会議室
当日参加者：21名



講師

ランドスケープ
デザイナー

石川 初氏



京都府宇治市出身。東京農業大学農学部造園学科を卒業。鹿島建設株式会社、米国HOKプランニンググループ、KAJIMADESIGNを経て、株式会社ランドスケープデザイン設計部に勤務。
登録ランドスケープアーキテクト。
東京大学空間情報科学研究センター協力研究員、千葉大学特任准教授、早稲田大学、武蔵野美術大学にて非常勤講師。グッドデザイン賞選考委員、日本造園学会、日本地理学会など多方面にわたって活躍中。
平成27年4月から、慶応大学教授に就任。



イギリスのオープンガーデン

川崎には港湾部の工業地帯から丘陵の住宅地や農地まで、とても多様な風景がある。良い風景写真を撮ろうとするとつい観光地や名所旧跡を撮影してしまうが、私たちが見ている風景のほとんどは個人の住宅や庭や、道路沿いの何気ない風景であったりする。



講師幼少時と現在 同じ場所にて撮影

イギリスのオープンガーデンのように、個人の園芸が国のイメージを形作ることもある。一人一人の身近な風景に対する記憶や思い出や愛着が、街を眺める目を養い、川崎全体の景観の向上にもつながってゆく。